

反戦闘争の右翼的再編—革々の癒着を



(中)

革命的反戦闘争で解体

上
革々の癒着を

**同盟東京各地区委員会主催
政 治 集 会**

5月28日(日) 東部地区委員会主催 午後1時・屯田東部民政会館(亀戸下車)
5月29日(月) 西部地区委員会主催 午後6時・初台区民会館(玉川駅切下車) あいさつ・松木仁二政治局員
5月31日(水) 中部地区委員会主催 午後6時・中央労政会館(水道橋下車) あいさつ・佐伯 武蔵郎
6月1日(木) 北部地区委員会主催 午後6時・王子労働事務所(王子坂下車) あいさつ・糸田正夫市委員長
6月6日(火) 南部地区委員会主催 午後6時・六本木町立館(六本木下車) あいさつ・さらざき二政治局員

規 定
講壇

日曜が日付とされた件、開業祝賀式も開いていた。同日は、新橋演舞場にて「新日本歌舞團」の公演が開かれ、その開幕式に出席した。また、(1)は「日本国民の民族意識」の問題を論じた。(2)は「近頃の農業政策」の問題を論じた。(3)は「通商政策」の問題を論じた。(4)は「財政政策」の問題を論じた。(5)は「銀行政策」の問題を論じた。(6)は「外債政策」の問題を論じた。

射爆場移転に再び 決起する新島島民

新島島民は再び射爆場の問題に立ち向かうと決意した。この問題は、先づ、射爆場の立地が島民の生活に大きな影響を与えるとして、島民たちが抗議活動を始めたことから始まっている。射爆場は、島の北側にあるが、島の南側には多くの島民の住居がある。射爆場の立地によって、島民の生活が大変困窮している。射爆場での爆発事故が度々発生するなど、島民たちの安全に対する懸念が高まっている。

牛乳労組勝利の問い合わせ

不當解雇撤回と

職場要求をかちとる

赤軍
B5版・百円(1号)
五十円(2号)
どう扱いに戦旗社
(東京・南部地区委員会理論誌)

烽火
(関西地方委員会理論誌)

理論戰線
第六号(復刊第一号)
A5版・110頁・110円(1冊定)
六月下旬發行

電通労研
特集 春闘と反戦闘争

電通労研 全国機関紙

国際通貨機構の崩壊

不可避的な

解説

国際通貨機構の崩壊

解説

国際通貨機構の崩壊は、これまでの国際金融体制の根本的な構造変化によるものと見なされる。主な要因としては、以下の点があげられる。

- 1. 海外資本の流入による通貨の過剰供給：海外資本の流入により、通貨供給が過剰化し、通貨価値が低下する傾向にある。
- 2. 国際通貨基金の機能不全：国際通貨基金の機能不全により、通貨交換の安定化や通貨価値の維持が困難となっている。
- 3. 通貨政策の不統一：主要国における通貨政策の不統一により、通貨の競争化や通貨価値の変動が大きくなっている。
- 4. 国際貿易の変動：国際貿易の変動により、通貨の需要が変動する傾向にある。
- 5. 通貨のリスク：通貨のリスクによる通貨価値の変動が大きくなっている。

国際通貨機構の崩壊は、経済の発展や世界の平和にとって大きな影響を及ぼす重要な問題である。そのため、国際社会では、新たな国際金融体制の構築が検討されている。

8・6集会への呼びかけ進む

共産主義

第七回大会報告決定集